46 浅川町（あさかわまち）

コード番号	075043	類型	Ⅱ－1

町章	所在地	〒963－6292 石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地112番地の15	
	所在地標高	海抜　306.50m	
	TEL	0247－36－4121	FAX 0247－36－2895
	URL	https://www.town.asakawa.fukushima.jp/	
キャッチフレーズ	笑顔あふれる　住みよいまち　浅川		
町花	サギソウ	PRキャラクター	
町木	アカマツ	あさまる	
町鳥	オナガ		

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)
町長（2期）	江田文男（えだふみお）	令和8年10月30日	758.0千円
副町長	加藤守（かとうまもる）	令和10年3月31日	607.0千円
議長	水野秀一（みずのひでかず）	令和9年9月30日	304.0千円
副議長	会田哲男（あいだてつお）	令和9年9月30日	239.0千円

区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
H17年国調	7,272人	1,159人	1,721人	2,060世帯	111世帯	37.43㎢
H22年国調	6,888人	995人	1,783人	2,029世帯	157世帯	人口密度
H27年国調	6,577人	885人	1,940人	2,055世帯	191世帯	158人/㎢
R2年国調	6,036人	682人	2,055人	2,070世帯	266世帯	
R6.1.1住基	5,896人	584人	2,133人	2,178世帯	高齢化率	36.18% 県下36位

産業別就業人口(R2年国調)	第1次産業	第2次産業	第3次産業	一人当り分配所得(R3年)
	(10.2%) 317人	(46.0%) 1,434人	(43.8%) 1,366人	2,623千円 県下32位

有権者数 R7.3.1	男	2,507人	女	2,487人	計	4,994人

議員	(旧)法定上限	18人	条例定数	10人	衆議院議員選挙区
	現員	10人	任期	令和9年9月30日	第2区

町の沿革

昭10.8.1　町制施行
昭29.10.1　合併　浅川町、山白石村
昭30.8.20　境界変更　東村大字太田輪・小貫

町の概要

（自然条件）
福島県中通り南部に位置し、東部に阿武隈山麓に連なる丘陵が南北に続く。町を西北に縦断するように阿武隈川の支流が走り、西部はおおむね平坦で農地が集団化されている。気象条件は比較的恵まれているものの、冬季の寒さは厳しく春先の晩霜が農作物に与える影響は大きい。

（産業・経済）
近年、第1次産業就業者は基幹作物の米を中心に畜産、野菜等の複合経営を行っている。第2次産業は精密機器、弱電気、信号機械が中心となっている。第2次、第3次産業への就業人口が増加し、地場産業の発掘、既存企業の育成、定住促進住宅の購入費等、町民はもとより他の地域からの移住者の生活の安定を図る。

（観光・文化）
癌研究の先駆者で世界的病理学者の吉田富三博士を顕彰する「吉田富三記念館」、県内唯一の即身仏「弘智法印宥貞」、那須連峰を一望でき、四季折々の田園風景が楽しめる城山がある。

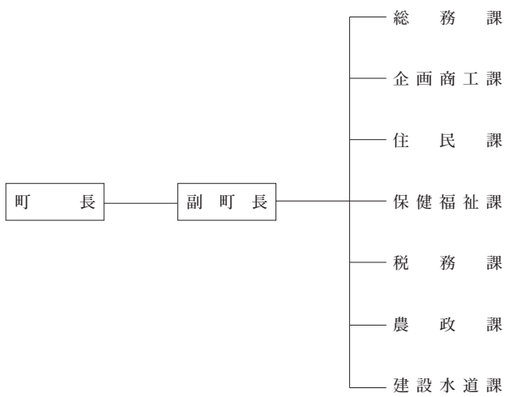
（伝統行事・伝統芸能）
300有余年の歴史があり県内最古の伝統を持つ花火大会「浅川の花火」（毎年8月16日）、無病息災と豊作を祈願する「風袋（カザブクロ）」（毎年二百十日の前日）がある。近年、除夜の花火や夜桜花火、豊秋花火の春夏秋冬で花火を打上げ、「花火の里」のイメージアップを図っている。

（特産品）
米、肉用牛、野菜、乾麺、地酒、鶏卵、魔除花火など

総合計画等の策定状況

名称	浅川町第5次振興計画　あさかわスマイルプラン	
策定年月日	平成28年3月14日	計画期間 平成28年度から令和7年度まで

組織機構



R7年度重点事業

(震災以外)	○上下水道事業会計への負担金補助及び出資金	184百万円
〃	○中学校建設事業費	134 〃
〃	○道路新設改良事業	88 〃
〃	○地域振興事業	45 〃
〃	○大草平田地区排水路改修工事	40 〃
〃	○標準準拠システム移行支援業務委託	36 〃
〃	○魅力発信事業	20 〃
〃	○感染症予防対策事業	16 〃
〃	○背戸谷地第3団地解体工事	13 〃
〃	○新規就農者育成総合対策事業補助	11 〃
〃	○公共施設建設基本構想策定	10 〃
〃	○移住・定住推進事業	8 〃

一部事務組合等への加入状況

須賀川地方広域消防組合
石川地方生活環境施設組合

主な地域開発区域指定状況

辺地　過疎　準過疎　山村　豪雪
特豪　農産　特農　原発

職員数

一般行政職員	50人	技能労務職員	0人	条例定数
教育職員	6人	その他	21人 [企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、1年を超えて勤務する定数外職員を含む。]	85人

	R3	R4	R5	R6
職員総数	71人	72人	74人	75人

財政（普通会計）

(1) 決算　（千円）

区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高
R3決算	4,100,115	3,878,336	221,779	170,736	110,950	2,039,156	980,000	3,179,172	7,164
R4決算	4,159,789	3,995,622	164,167	144,539	63,803	2,238,516	1,070,000	3,209,358	3,551
R5決算	4,494,915	4,325,742	169,173	167,295	▲177,244	2,146,997	870,000	3,345,382	0

(2) 指標（　）は類似団体　（千円・%）

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率 実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率 比率	備考(事業名等)
R3決算	(3,512,749) 2,484,332	(0.35) 0.34	(82.5) 78.9	－	－	(8.0) 5.0	－		
R4決算	(3,443,307) 2,448,976	(0.34) 0.33	(86.1) 85.2	－	－	(8.3) 5.5	－		
R5決算	(3,451,910) 2,458,640	(0.35) 0.31	(87.3) 86.4	－	－	(8.4) 6.4	－		

(3) 主な歳入（　）は構成比　（千円・%）

区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計
R3決算	(16.0) 657,173	(40.0) 1,640,904	(14.2) 581,000	(5.3) 215,842	(4.5) 184,809	(20.0) 820,387	(100.0) 4,100,115
R4決算	(16.2) 673,034	(40.4) 1,681,742	(12.2) 508,399	(7.5) 312,859	(5.8) 242,589	(17.8) 741,166	(100.0) 4,159,789
R5決算	(14.9) 668,034	(37.8) 1,699,761	(11.5) 514,900	(4.8) 214,531	(9.2) 413,415	(21.9) 984,274	(100.0) 4,494,915

(4) 主な歳出（　）は構成比　（千円・%）

区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計
R3決算	(18.6) 721,258	(15.1) 585,959	(16.0) 620,740	(7.8) 301,534	(6.3) 244,516	(9.6) 370,882	(26.6) 1,033,447	(100.0) 3,878,336
R4決算	(17.9) 714,431	(14.3) 569,704	(14.9) 594,479	(7.6) 303,056	(7.0) 278,681	(17.0) 677,972	(21.5) 857,299	(100.0) 3,995,622
R5決算	(17.5) 757,495	(12.4) 535,672	(13.8) 596,202	(8.5) 368,422	(6.6) 286,816	(23.6) 1,021,181	(17.6) 759,954	(100.0) 4,325,742

(5) 税の徴収率（国民健康保険税除く）　（%）

	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち 市(町村)民税	固定資産税		現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち 市(町村)民税	固定資産税
R5決算	99.2	26.9	97.4	99.2	99.0	R4決算	99.1	24.1	97.2	99.0	99.0

公共施設整備状況

道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園(認定こども園)	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学	老人ホーム
114,490m	10,201㎡	203戸	1園（－園）94人（－人）	1校 256人	1校 161人	－校 －人	－校 －人	－校 －人	－所

公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率
1館	34所 2,884㎡	3所 0床	0院 0床	83.7%	89.2%	100.0%	98.8%	47.1%

公営企業（R5決算）

（　）は法適用企業にあっては経常損益、法非適用企業は実質収支（千円）

（法適用）
上水道事業（▲23,898）

（法非適用）
特環下水（106,817）
農集排（1,544）
宅地造成（730）

主な郷土出身者

吉田富三（医学博士）
内田　稔（内田油圧機器創設者）
小室源四郎（白河電子工業株式会社創設者）
小川智士（株式会社キャン創設者）
江田照男（JRA騎手）

今後の主要課題

（震災以外）
○公共施設の老朽化対策
○子育て支援の充実
○医療・福祉の充実
○企業育成支援
○農業・商業・工業の振興、活性化
○若者の定住
○文化・スポーツの振興
○上・下水道の充実
○学校教育の充実

（特色ある施策）
○春夏秋冬四季花火打上げ
○浅川の慰霊花火
○花火の里浅川ロードレース大会
○特別栽培米「浅川の優味米」

（姉妹都市）

主な立地企業

㈱アクティブエンジニア、オートマックス㈱福島工場、㈲県南サンマッシュ、㈱匡志、㈱コムロ、㈱コンド電機、㈲サカイフーズ、㈲酒井養鶏場、㈲サンエス精工、㈱正栄マーク製作所福島工場、㈲造園あさかわ、㈲総合葬祭おかべ、第一精機㈱浅川工場、大同信号化工㈱、大同信号㈱浅川事業所、大同信号電器㈱、㈲高宮葬祭、㈲塚原製作所、円谷製麺㈱、トミー工業㈱福島工場、㈱ニッセイ福島工場、㈱ノーサンフーズ、㈲丸川製作所、㈲水野精工、ミドリ浅川衣料㈱、ユニオンテック㈱、㈲ラドウィック